

評価番号	第 18-C-001 号	技術の名称	銚子漁港でのカルシア改質技術
技術の種類	実証試験	依頼者	日本製鉄株式会社・五洋建設株式会社

技術の特徴

軟弱浚渫土に、鉄鋼製造段階で副生される転炉系製鋼スラグ製品や高炉系スラグ製品を混合することで、軟弱浚渫土の土性を改良して「カルシア改質土、カルシア人工石・ブロック」として有効利用するカルシア改質技術は、鉄鋼会社と港湾土木会社（カルシア改質土研究会）が中心となり開発され、実用化され、既に全国の港湾公共工事や民間工事等で実海域において 20 件以上の適用実績があります。

また、平成 29 年度には、この水産公共関連民間技術の確認審査において、水産公共関連事業への適用に関する基本的な項目について評価し、確認されています。

銚子漁港でのカルシア改質技術についての確認審査は、銚子漁港において大量に発生する浚渫土の有効利用を図るため、現地の浚渫土を用いて、カルシア改質技術により、「カルシア改質土、カルシア人工石・ブロック」として適用する際に問題となる

- (1) 物理性状の面からみた適用性
- (2) 耐久性の面からみた適用性
- (3) 環境安全性の面からみた適用性

について、実証試験により検証しました。



確認審査項目	<p>(1) カルシア改質土は、海水中での土留め潜堤や嵩上げ材として適用可能な物理的性能を有する。</p> <p>(2) カルシア人工石は、天然石（準硬石、軟石相当）代替材として適用可能な物理的性能を有する。</p> <p>(3) カルシアブロックは、軽微な消波ブロック、被覆ブロック、魚礁ブロックとして適用可能な物理的性能を有する。</p> <p>(4) カルシア改質土、カルシア人工石・ブロックは周辺海域の水質・生物に悪影響を及ぼさない。</p> <p>* 評価結果の詳細は、銚子漁港においてカルシア改質技術を適用する際の課題と伴に、評価報告書に詳述した。</p>
--------	--

第 18-B-001 号 FRG カバー工法 株式会社ダイトー



第 18-C-001 号 銚子漁港でのカルシア改質技術 日本製鉄株式会社 五洋建設株式会社

(\* 実証試験は評価証無し)

